

## リニアテクノロジー、「LTC6957」を販売開始

選択可能な入力フィルタリングを利用して付加ジッタを最小限に抑える、デュアル出力の正弦波・ロジック変換器

リニアテクノロジー株式会社は、正弦波を低位相ノイズのロジック・レベル信号に変換するのに最適な、DC～300MHz デュアル出力バッファ/ドライバ/ロジック変換器「[LTC6957](http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC6957)」の販売を開始しました。LTC6957 は RoHS 準拠の小型 12ピン MSOP または 3mm x 3mm DFN パッケージで供給され、インダストリアル・グレードは $-40^{\circ}\text{C}\sim+85^{\circ}\text{C}$ 、車載グレードは $-40^{\circ}\text{C}\sim+125^{\circ}\text{C}$ の動作温度範囲で仕様が規定されます。1,000 個時の参考単価は 3.60ドルからで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。サンプル、評価ボードのご注文及び製品の詳細情報は、リニアテクノロジーの Web サイトをご参照ください([www.linear-tech.co.jp/product/LTC6957](http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC6957))。

従来のソリューションでは、大量のジッタを発生させずにこの変換を実行することは不可能でしたが、LTC6957 は DC～300MHz のあらゆる基準周波数を LVPECL、LVDS または CMOS のデュアル出力に変換する際、12kHz～20MHz の積分帯域幅にわたり付加ジッタを  $45\text{fs}_{\text{RMS}}$  (LVPECL) という極めて小さい値に抑え、全ジッタを  $200\text{fs}_{\text{RMS}}$  未満にします。また、独自の選択可能な入力段帯域幅制限機能を備えており、スルーレートが遅い信号の付加的な位相ノイズを 4～7dB と大幅に改善します。

LTC6957 を使用して、あらゆる種類の信号をロジック・レベル信号に変換できます。特に正弦波の変換に優れています。選択可能な帯域制限のある入力段により、最小限の付加ジッタで正弦波の最適な変換が可能です。LTC6957 は、基板レベルの同期を図るためにシステム・クロックの基準信号を分配するシステムに最適であり、クロック・レートが最大 300MHz の A/D コンバータ(ADC)、D/A コンバータ(DAC)または DDS(直接デジタル合成)IC 用のクロック・ドライバとして使用されます。

LTC6957 には 4 種類の出力ロジック信号のバージョンがあります。LTC6957-1 は 2 つの LVPECL 出力を供給、LTC6957-2 は 2 つの LVDS ロジック出力を供給、LTC6957-3 は 2 つの同相 CMOS 出力、LTC6957-4 はコンプリメンタリ CMOS 出力をそれぞれ供給し、3ps (標準)の低出力スキューを実現します。

### LTC6957 の主な特長:

- 低位相ノイズのバッファ/ドライバ
- 正弦波信号からロジック・レベル信号への変換を最適化
- 4 種類のロジック出力:
  - LVPECL (LTC6957-1)
  - LVDS (LTC6957-2)
  - 同相およびコンプリメンタリ CMOS (LTC6957-3、LTC6957-4)
- 全付加ジッタ:  $<150\text{fs}_{\text{RMS}}$
- 周波数範囲: DC～300MHz

選択可能な入カフィルタリングを利用して付加ジッタを最小限に抑える、デュアル出力の正弦波・ロジック変換器

- 3.3V 電源で動作
- 低出力スキュー: 3ps (標準)
- 12 ピン MSOP および 3mm x 3mm DFN パッケージ

フォトキャプション: 低位相ノイズの DC~300MHz バッファ/ドライバ

Copyright: 2013 Linear Technology Corporation

###

#### リニアテクノロジーについて

S & P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワーマネジメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 $\mu$  Module サブシステム及びワイヤレス・センサー・ネットワーク製品を設計・製造・販売しています。詳細は同社 Web サイトをご参照ください。

<http://www.linear-tech.co.jp>

LT, LTC, LTM,  $\mu$  Module 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西(かさい)

TEL: 0422-47-5319、Email: [linear-pr@miacis.com](mailto:linear-pr@miacis.com)

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表)

<http://www.linear-tech.jp>

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

[jhamburger@linear.com](mailto:jhamburger@linear.com) 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

[ddickinson@linear.com](mailto:ddickinson@linear.com) 408-432-1900 ext 2233

以上